

2010.1.23

第7回北海道リハ支援センター研修会

地域リハ活動推進におけるリハ支援センターの役割 ～長崎県の活動から～

長崎県対馬いづはら病院 理学療法士
井川 吉徳

目次



長崎県の地域リハ支援体制の経過



長崎県リハ支援センターと
地域リハ広域支援センターの活動



活動事例紹介(対馬圏域)

地域リハビリテーション支援体制推進事業の経過

- 平成12年度から全国的に地域リハビリテーション支援体制推進事業が展開。
- 各都道府県に1カ所の「リハビリテーション支援センター」と各都道府県の老人保健福祉圏域に概ね1カ所ずつの「地域リハビリテーション広域支援センター」が指定。
- 長崎県では、任意団体のナガサキリハビリテーションネットワーク(代表;松坂誠應)が、県リハビリテーション支援センターの指定を受ける。
- 各圏域の広域支援センターは、平成13年度から、随時指定を受け、現在長崎県内には9カ所の地域リハ広域支援センターが指定を受け、それぞれの地域の実情に応じた活動を展開している。

長崎県の地域リハ支援体制



長崎県リハ支援センターの役割

- ①地域リハ広域支援センター及び、
地域リハ協議会への支援
- ②リハ資源の調査・研究
- ③関係団体、医療機関との連絡・調整

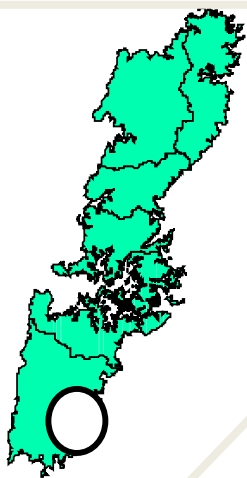
地域リハ広域支援センターの役割

地域リハ実施機関等の支援
地域のリハ施設等における従業者への研修
関係団体、医療機関との連絡・調整

地域リハ広域支援センター(○)と協力施設

2009.4月現在

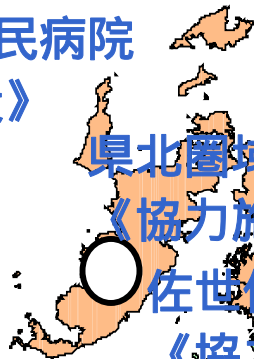
対馬圏域；対馬いづはら病院
《協力施設；2施設》



志岐圏域；志岐市民病院
《協力施設；5施設》



県北圏域；平戸市民病院
《協力施設；2施設》



佐世保圏域；耀光リハビリテーション病院
《協力施設；12施設》



上五島圏域；上五島病院
《協力施設；3施設》



下五島圏域；五島中央病院
《協力施設；2施設》



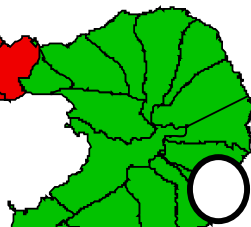
長崎圏域；長崎大学医学部保健学科
《協力施設；11施設》



県央圏域；大村市医師会
《協力施設；29施設》



県南圏域；池田病院
《協力施設；2施設》



地域リハ広域支援センター事業内容

1) 地域におけるリハ従事者への研修・支援

① 高齢者や身体障害者等のリハ従事者に対する研修会

・地域支援事業に関する研修会 ・その他、地域の特性に応じた研修

2) 地域におけるリハ実施機関等への支援

① 地域住民の相談への対応に係る支援

② 福祉用具選定や住宅改修等に係る相談への対応

③ 関係機関への情報提供

3) 関係団体、関係機関等との連絡・調整等

① 地域リハ連絡協議会等への出席

② 地域リハの推進に必要な業務

4) 地域における介護従事者への研修・支援

① 介護従事者に対する研修会

② 市町等が実施する地域支援事業等への支援

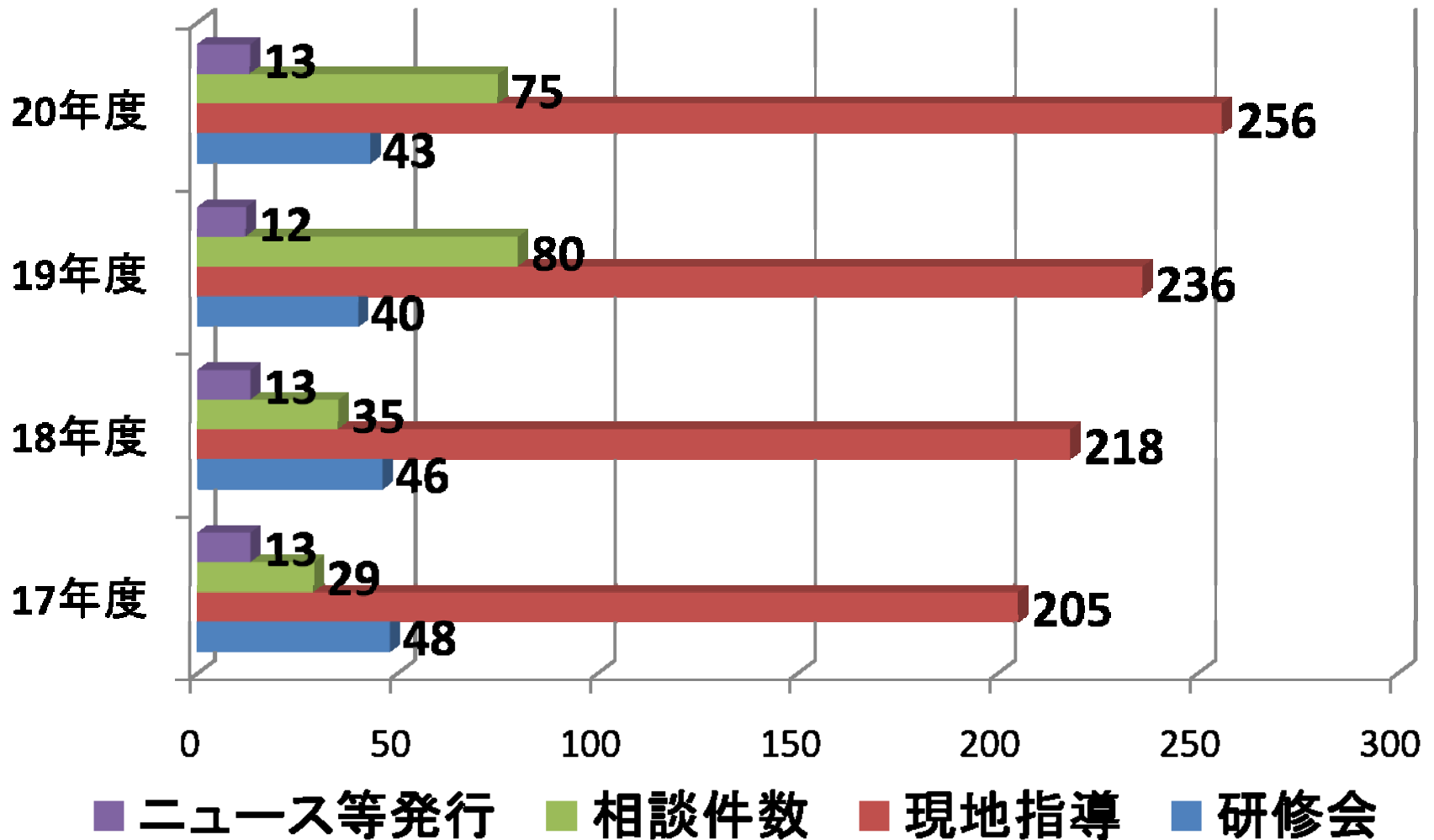
長崎県内地域リハ広域支援センター 各圏域人口・高齢化率(平成20年度)

	総人口(人)	65歳以上(人)	高齢化率(%)	総面積(km ²)
長崎圏域	550, 293	131, 391	23. 9	697. 41
佐世保圏域	252, 904	62, 768	24. 8	248. 29
県央圏域	270, 632	59, 141	21. 9	605. 54
県南圏域	148, 279	43, 870	29. 6	459. 21
県北圏域	86, 295	25, 239	29. 2	548. 92
五島圏域	41, 729	13, 613	32. 6	420. 22
上五島圏域	25, 913	8, 735	33. 7	265. 33
壱岐圏域	29, 898	9, 442	31. 6	138. 38
対馬圏域	35, 508	10, 239	28. 8	708. 48
県計	1, 411, 451	364, 438	25. 3	4, 091. 73

長崎県内地域リハ広域支援センター 活動内容(平成20年度)

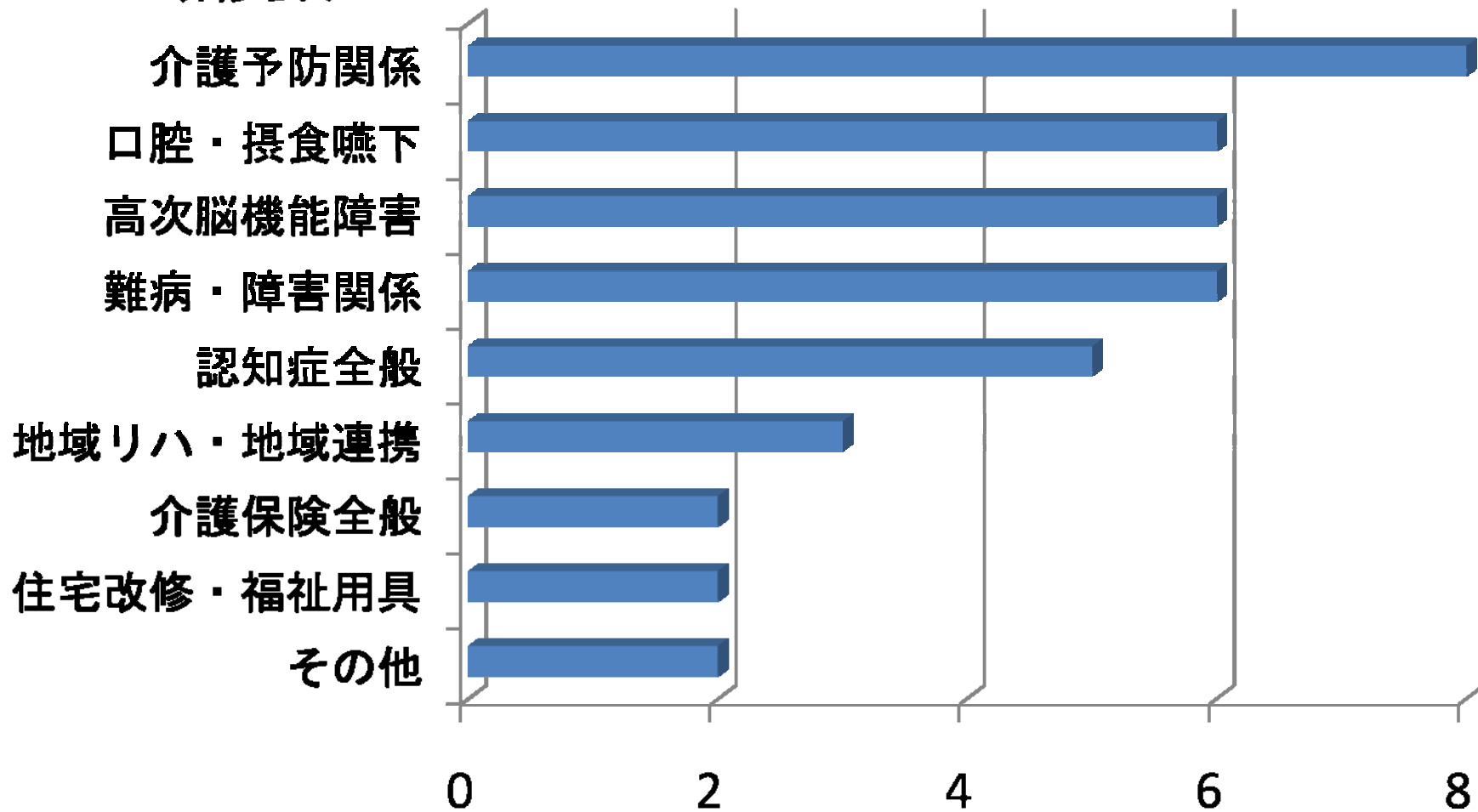
	研修会開催 状況	現地指導 回数	相談件数	広域ニュース 等発行回数
長崎	5	50	4	1
佐世保	6	3	20	1
県央	2	21	3	1
県南	4	35	9	2
県北	4	26	34	1
五島	4	27	0	1
上五島	6	54	0	2
壱岐	6	18	5	2
対馬	6	22	0	2
計	43	256	75	13

長崎県内地域リハ広域支援センター 全圏域活動内容(平成17~20年度)

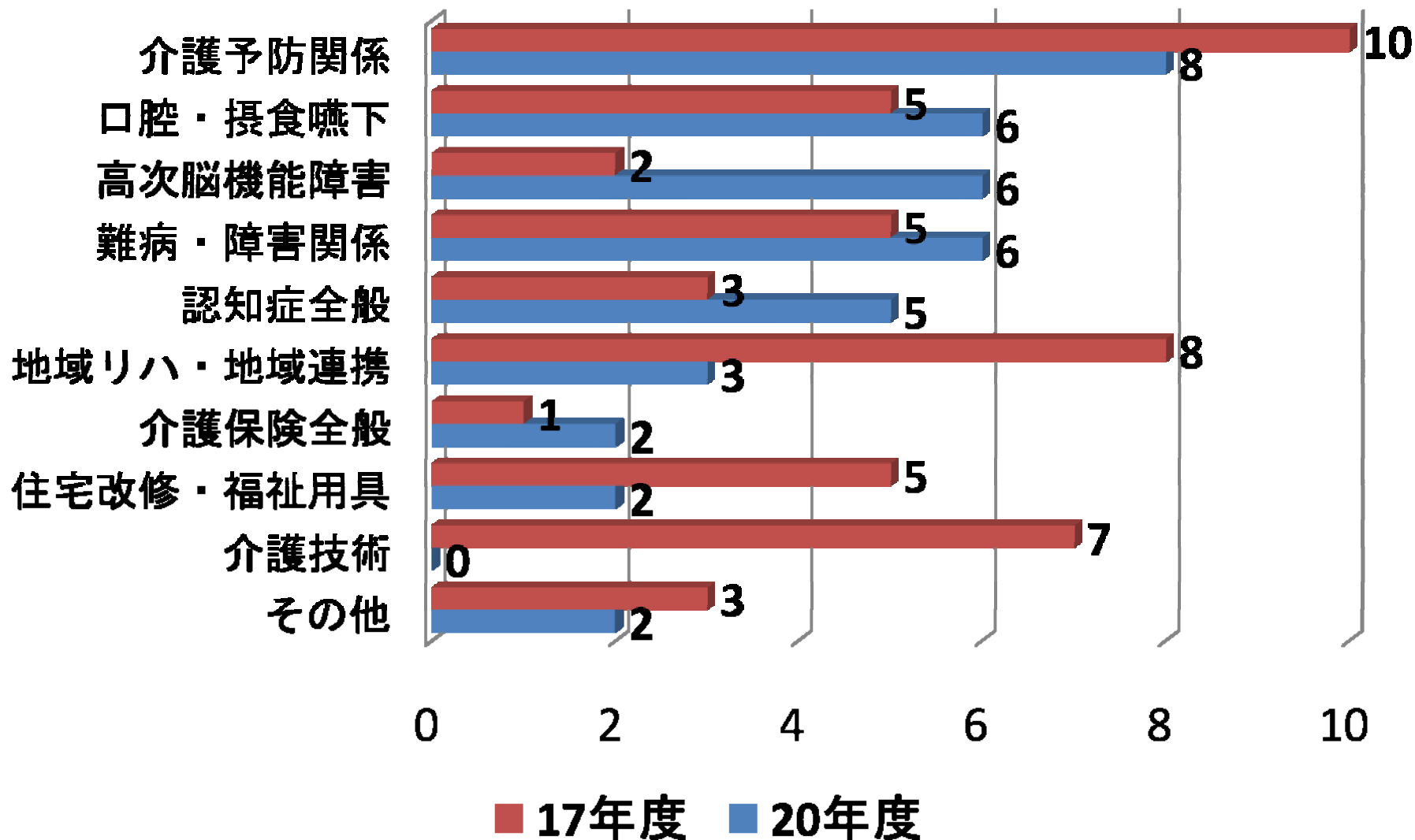


長崎県内地域リハ広域支援センター 各圏域研修会テーマ(平成20年度)


研修会テーマ



長崎県内地域リハ広域支援センター 各圏域研修会テーマ(平成17年度・20年度)



長崎県リハ支援センターと 地域リハ広域支援センターの地域リハ展開方法

- (1) マニュアル作成と研修会の企画・運営を通して
連携を深める方法
- (2) モデル地区の実践から事業効果の検証
 全県的に波及させていく方法
- (3) 先進地視察や先進地の研修参加及び
研修交流からマニュアルや各圏域の
活動の参考にしていく

(1) マニュアル作成と研修会の企画・運営を通して 連携を深める方法

2004年 転倒予防教室運営マニュアル作成

2005年 介護予防運動器の機能向上講師養成研修会(初回)

2007年 介護予防運動器の機能向上講師養成研修会(2回目)

2008年 長崎県介護予防マニュアル作成(長崎県介護予防市町支援委員会)

①「運動器の機能向上」 ②「口腔機能の向上」

③「栄養改善」 ④「認知症・うつ・閉じこもり予防」

2008年 介護予防認知症予防講師養成研修会(初回)

2009年 介護予防運動器の機能向上講師養成研修会(3回目)

マニュアル作成



研修会



各圏域での研修会

介護予防運動器の機能向上講師養成研修会プログラム

- 基調講義 テーマ『介護予防事業における広域支援センターの役割』
講師 長崎県リハ支援センター代表
- 講義〈1〉 テーマ『転倒・骨折予防教室のための運用マニュアルについて』
講師 長崎県リハ支援センター 理学療法士
- 講義〈2〉 テーマ『転倒・骨折予防教室におけるリスク管理』
講師 長崎県医師会 医師
- 実技指導 テーマ『転倒・骨折予防教室の評価・運動指導の実技』
- 講義〈3〉 テーマ『介護保険施策の動向と長崎県における介護予防事業の展開』
講師 長崎県長寿社会課在宅保健班 保健師
- 講義〈4〉 テーマ『転倒・骨折予防教室事業の進め方とチームアプローチ』
講師 長崎市医師会基幹型支援センター 保健師
- 講義〈5〉 テーマ『転倒・骨折予防教室実践例の紹介』
講師 県北地域リハビリテーション広域支援センター 理学療法士

介護予防認知症予防講師養成研修会プログラム

講義〈1〉 テーマ『長崎県の介護予防施策の動向と今後の展望』

講師 長崎県長寿社会課在宅福祉班 保健師

講義〈2〉 テーマ『介護予防事業における地域リハ広域支援センターの役割』

講師 長崎県地域リハ広域支援センター連絡会議会長

講義〈3〉 テーマ『認知症予防の理論① 総論・事業展開論』

講師 長崎県リハビリテーション支援センター 作業療法士

講義〈4〉 テーマ『認知症予防の理論② 評価の実際(長崎県マニュアル編)』

テーマ『認知症予防の理論② 評価の実際(ファイブコグ編)』

講師 長崎県作業療法士会

講義〈5〉 テーマ『認知症予防の理論③ プログラム作成と実践の考え方』

講師 長崎県作業療法士会

実技指導 テーマ『認知症予防のための評価・作業療法の実技』

A:評価(県マニュアル), B:評価(ファイブコグ), C:認知機能訓練

D:レクリエーション(認知症予防体操, ゲーム等), E:創作活動

総括講義 テーマ『介護予防事業の展開から地域づくりへ』

講師 長崎県リハ支援センター代表

マニュアル作成と研修会の企画・運営を通して 連携を深める方法

第一段階

- ・ **マニュアル作成**
- ・ **〔マニュアル作成においても関係者の連携が深まる〕**

第二段階

- ・ **マニュアルを基にした研修会(実技・ワークショップ等も含む)**
- ・ **〔各圏域から担当者(PT・OT等)が出席、後に各圏域での研修会の講師となる〕**

第三段階

- ・ **各圏域での研修会の開催**
- ・ **〔県リハ支援センター及び広域担当者が講師役〕**

長崎県リハ支援センターの具体的活動

長崎県リハ支援センター介護予防先進地視察

● 企画 長崎県リハ支援センター

● 視察地域

19年度 高知市;『いきいき百歳体操』

20年度 茨城県;『シルバーリハビリ体操指導士』

● 参加者 長崎県リハ支援センター

各圏域広域支援センターからの希望者
(19年度;2圏域 20年度;4圏域)

長崎県長寿社会課(20年度のみ)

長崎県内各圏域の地域リハ広域支援センターの活動

研修会

健康づくり・介護予防・高次脳機能障害・精神障害者支援・地域療育関係
地域リハ関係機関への支援

介護予防事業

(運動器の機能向上・認知症予防)

住民ボランティア養成への支援

健康運動ボランティア

認知症サポーター養成への支援

地域住民対象の研修会

健康づくり 介護予防

地域連携体制の構築

地域連携パスの作成検討・稼働

その他の活動

・圏域のトイレマップ作成

・小・中学校での講話

長崎県地域リハ広域支援センター一連絡会議

 経過 平成16年2月発足

 目的

各圏域広域支援センターの意見及び情報交換
各圏域の地域リハ支援体制整備の充実
地域リハ支援体制整備についての検討

 活動内容

- ①連絡会議の開催；情報交換、共有課題の検討
(2回／年 その他必要に応じて開催)
- ②その他の活動(県リハ支援センターとの協働事業)
 - 研修会の開催
 - マニュアル作成
 - 先進地視察

広域支援センター連絡会議活動の利点

- ①全県的なレベルアップが期待される
- ②共通の課題を取り上げ検討していくことで、
マニュアル作成等が容易で効率的
 - 「転倒・骨折予防教室」のための運用マニュアル(2005.3)
 - 運動器の機能向上マニュアル(2006.3)
- ③先進的地区で今後必要になると思われるプロジェクトを実施
→他の圏域のモデルになる



長崎県すこやか長寿財団モデル事業
『転倒予防教室ボランティア養成』

対馬圏域の活動

長崎県・対馬は

南北約82km 東西約18kmの縦に細長い島

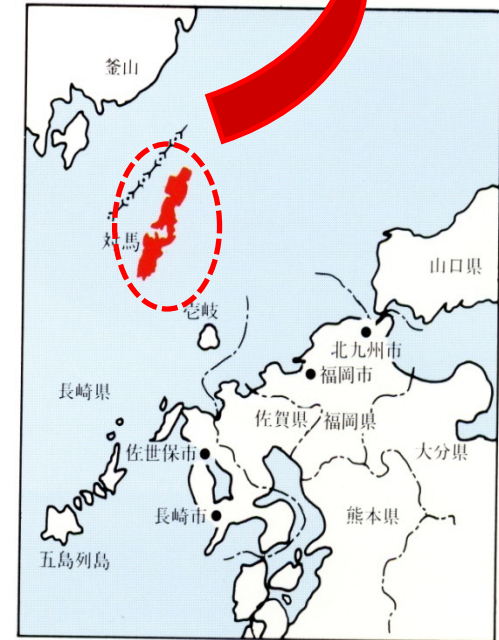
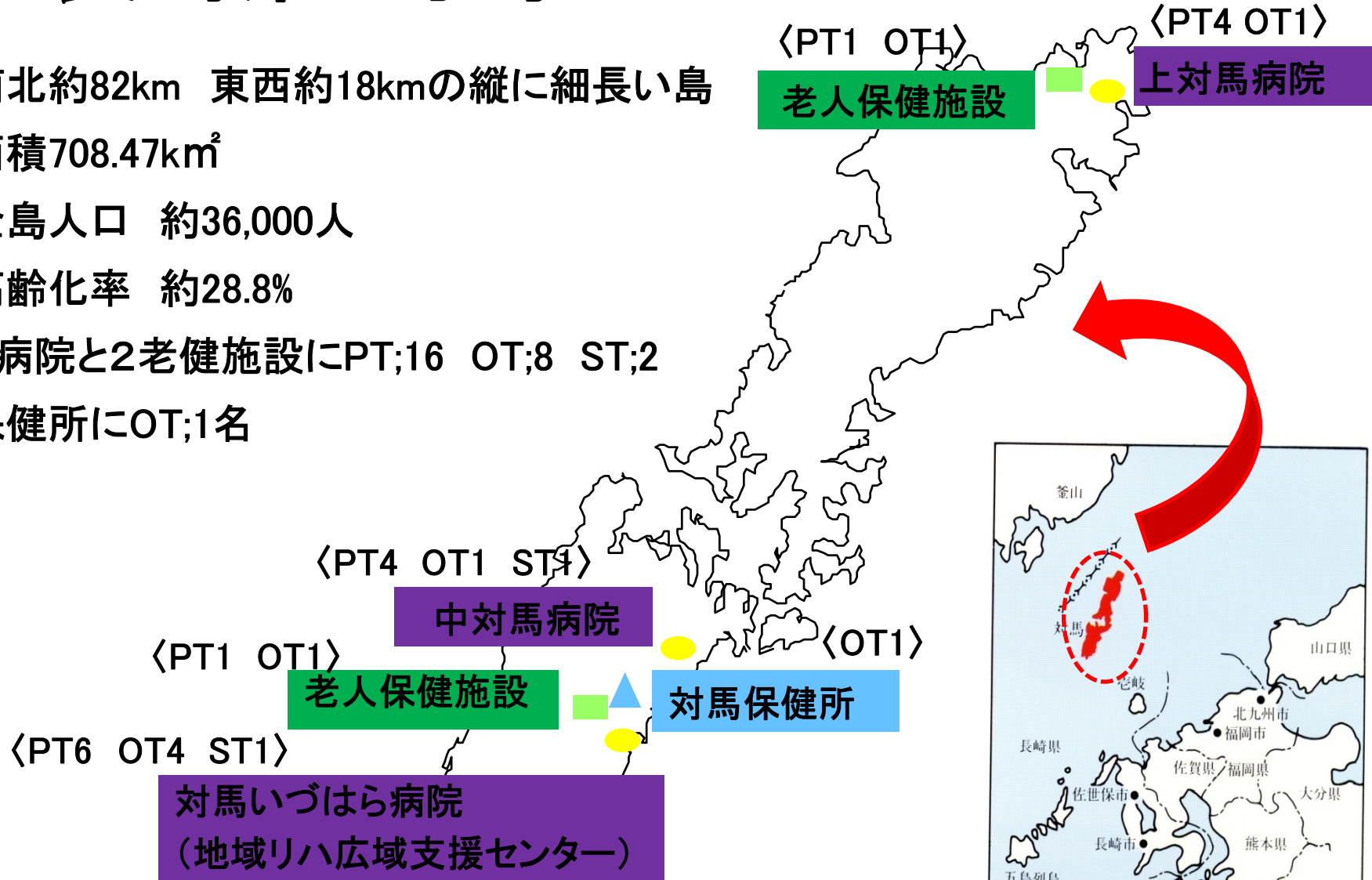
面積708.47km²

全島人口 約36,000人

高齢化率 約28.8%

3病院と2老健施設にPT;16 OT;8 ST;2

保健所にOT;1名



長崎県・対馬圏域での地域リハ実践活動(1)

1) 介護予防への支援

① 包括支援センター主催の「運動器の機能向上」

「認知症予防」事業に企画の段階から支援

② 対馬市、社会福祉協議会と協働し「介護予防ボランティア養成講座」を3クール(1クール;4回)企画・実施。

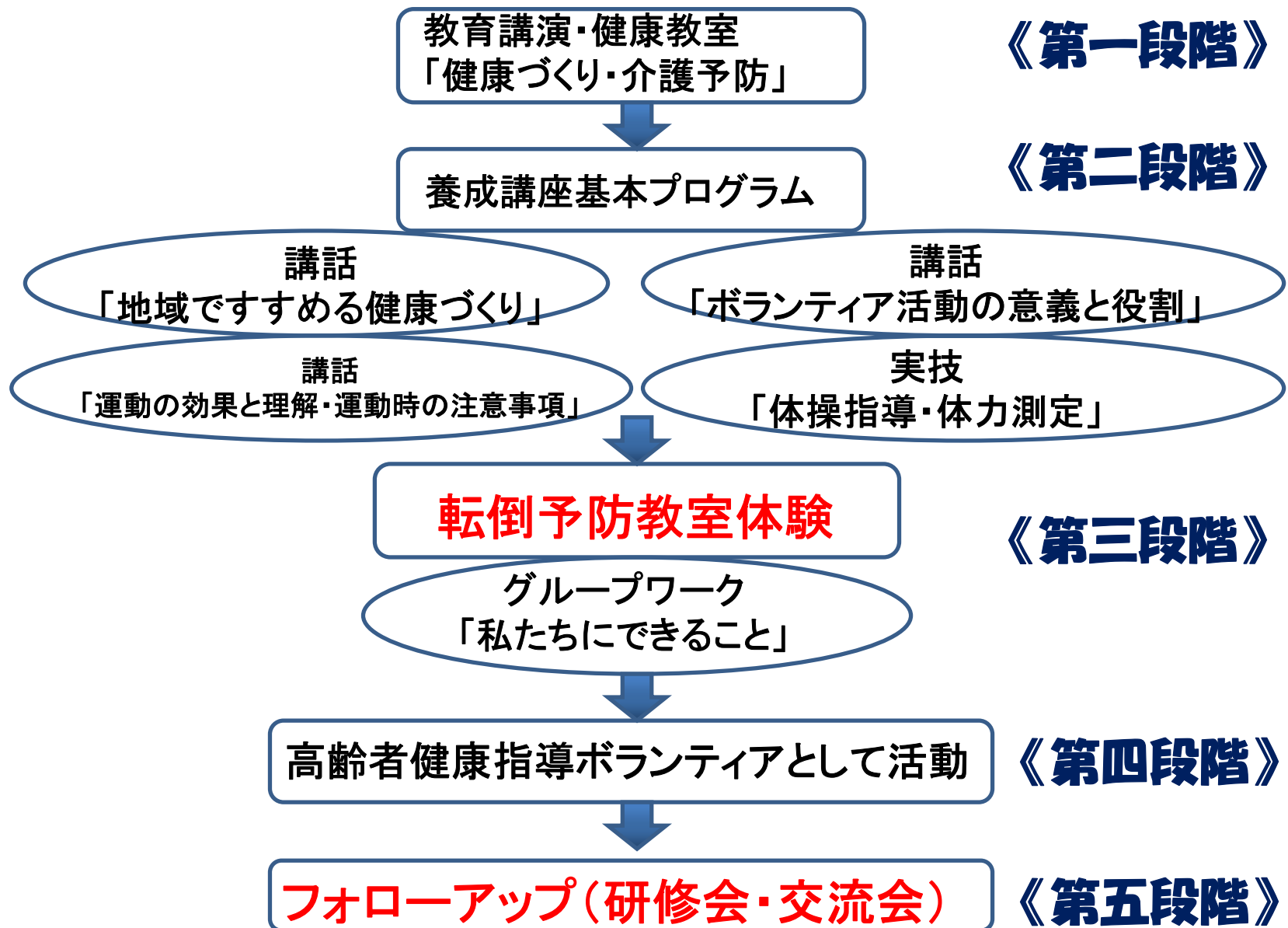
2) 対馬管内の連携体制の構築

① 地域包括支援センター運営会議に参加

② 地域連携パスの推進

現在、対馬管内の医療機関から退院時に「対馬版地域連携パス」を稼働中。施設・在宅から入院時にも地域連携パスを稼働中

高齢者健康指導ボランティア養成事業の流れ



ボランティア養成事業の内容

〈第1回〉

講話① **健康づくり・介護予防総論「地域ですすめる健康づくり
～介護予防の考え方と転倒予防のツボ～」**

実技① 転倒予防体操（紹介）

〈第2回〉

講話② **「高齢者健康指導ボランティア～活動の意義と役割～」**

実技② 転倒予防体操

〈第3回〉

講話③ **「高齢者の運動の効果と理解・運動時の注意事項と対応」**

実技③ 体力測定・転倒予防体操

〈第4回〉

転倒予防体験及び終了後、意見交換会

対馬圏域 地域連携パスの紹介

対馬版地域連携パス作成までの経過(1)

平成17年度 対馬地域リハビリテーション連絡協議会「専門部会」設置

圏域における地域リハ連携体制に関する現状調査

対象：医療機関、福祉施設、居宅介護支援事業所



調査結果→課題分析

①退院時の関係機関同士の連携が不十分

②関係機関によって連携の必要性に対する意識に差がある。

③連携に関する窓口が不明確であるという課題



平成19年度 「対馬地域医療ケアネットワーク推進事業」(2カ年)

対馬地域連携パス推進委員会設置

①対馬版地域連携パス実用に向けた検討

②「対馬で暮らそう保健・医療・福祉連携便利帳」
(各関係機関の窓口・連絡先・サービス内容を紹介)

対馬版地域連携パス作成までの経過(2)

対馬版地域ケアパスの試行を2回、13症例実施し、効果を検証

- 【医療機関→施設・在宅ケース】のみの様式であったのを再検討し、【施設→医療機関ケース】と【在宅→医療機関ケース】を追加し、様式及び手引きを作成 **“双方向の地域連携”**

“地域連携”に関する全体研修会を2回開催

21年度から実施可能な機関で漸次開始

- 対馬いづはら病院では、平成20年12月から退院時の「看護サマリー」を“対馬版地域連携パス”に置換して運用中

対馬版地域連携パスの目的と対象

(「対馬版地域ケアパスの手引き」から引用)

【目的】

退院時に使用する関係機関の連携に関する取扱様式「対馬版ケアパス」を使用することにより、入院から退院後の生活まで切れ目なく、患者が安心して医療とケアのサービスが受けられる体制を構築する。

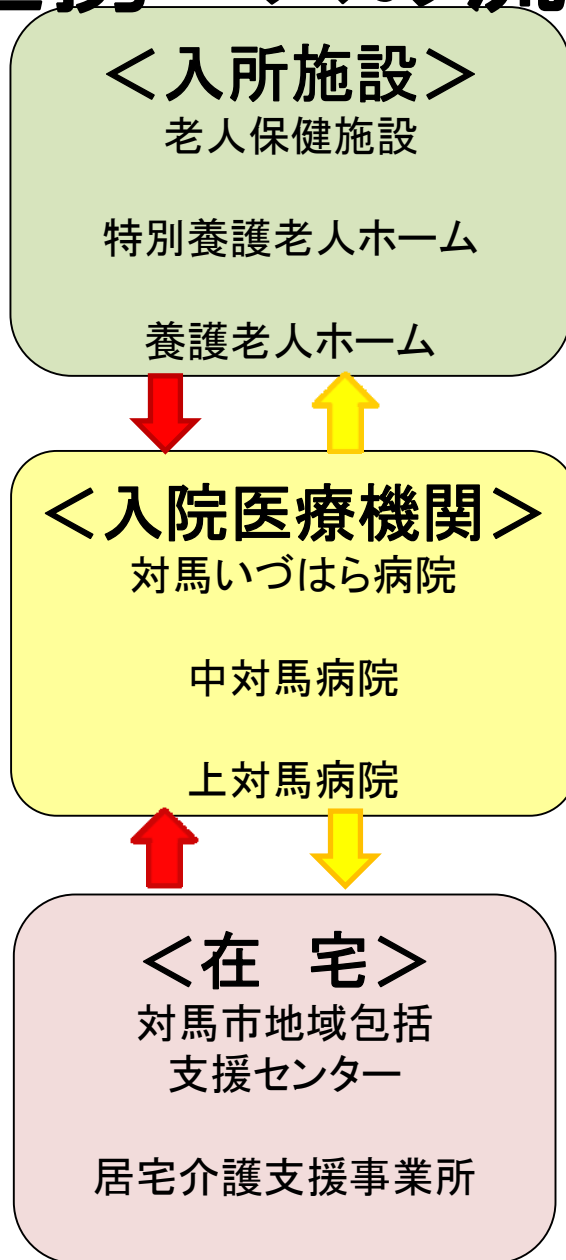
【対象】

医療介護連携を要する40歳以上の患者が医療機関を入退院するとともに、患者の同意が得られた場合に使用する。

〈対馬版ケアパスの使用が有効であると考えられるケース〉

- ①初回の発症ケースで機能低下などにより、介護保険を利用して退院するケース
- ②介護度が上がるなど、機能・認知面の低下がみられ入院・退院するケース
- ③かかりつけ医の病院以外の病院へ入院するケース。または、かかりつけ病院以外から退院するケース
- ④在宅療養中の方が入院し退院後は施設入所となるケースなど、対馬版ケアパスを受けられる側が初めてのケース

連携パスの流れ



様式紹介

氏名 () 年 月 日 生 () 歳	
機関名 (病院名)	看護師記入 (主治医:) (看護担当:) (リハ担当:)
経過 (年 月 日 入院)	発行日: 年 月 日
家族生活背景	キーパーソン: (続柄:) 緊急連絡先(TEL): - -
目標(退院後の生活像)	主治医記入
既往歴	主治医記入
治療経過	服薬: <input type="checkbox"/> 内服薬あり (<input type="checkbox"/> 自己管理可 <input type="checkbox"/> 服薬後確認必要 <input type="checkbox"/> 自己管理不可)
自立度	●障害老人の日常生活自立度: () ●認知症老人の日常生活自立度: () ●介護保険の申請: <input type="checkbox"/> 申請有り:介護度 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 申請無し
行動障害周辺症状	奇声 <input type="checkbox"/> 不潔行為 <input type="checkbox"/> 徘徊 <input type="checkbox"/> 危険行為 <input type="checkbox"/> うつ症状あり <input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> その他 ()
生活上の注意	看護師記入
食事 (食事形態)	(※特記事項:例 摂食・嚥下障害、食事形態、カロリー、塩分、身長、体重kgなど) <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> 介助 <input type="checkbox"/> 特別食 ()
入浴	(※特記事項) <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 半介助 <input type="checkbox"/> 介助 <input type="checkbox"/> 見守り
排泄	(※特記事項) <input type="checkbox"/> 自立 (その他:) <input type="checkbox"/> ポータブル <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> ベッド上
移動	(※特記事項) <input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 杖 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> つかまり歩行 <input type="checkbox"/> つかまり立ち <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> ベッド上 <input type="checkbox"/> 見守り <input type="checkbox"/> サマリー参照 (<input type="checkbox"/> 発行済み <input type="checkbox"/> 作成中)
看護経過	看護師記入
リハビリ経過	リハビリ担当者が記入
確認事項	●患者様が退院の際に必要な書類の確認 看護師記入 次回受診日 (/ /) 【診療科目 ()】 ●ケアマネに連絡 (担当ケアマネ:) 次回リハ受診日 (/ /)
窓口	○退院後の相談窓口 (部署:) 担当:)

●記入内容
→退院時点での患者の状態。
→退院後にケアの参考となる内容。

●記入時期
→退院決定後に記入

●記入者
→医療機関
(Dr・Ns・リハビリ担当など多職種)

長崎県・対馬圏域での地域リハ実践活動(2)

3) 対馬市特別支援(教育)連携推進会議実務者会議に参加

① “地域リハ”における連携体制構築推進の立場から意見提案。

② 特別支援教育啓発パンフ作成、研修会の開催、個別支援計画の検討

4) 精神障害者支援への取り組み

地域リハ広域支援センター内に「精神部会」を設置し、地域住民参加型の「こころのふれあい祭り」を年に1回実施。昨年度までに3回実施。昨年度から当事者会の実行委員会が立ち上がり、広域支援センターは、共催の立場で後方支援。

当事者の交流会も定期的を開催されるようになる。

まとめ



長崎県の地域リハ支援体制整備事業について長崎県
リハ支援センター及び長崎県内各圏域の地域リハ広域
支援センター活動紹介



対馬圏域の地域リハ広域支援センター活動紹介

10年目を迎える長崎県の地域リハ支援体制整備事業ですが、これまで“地域づくり”を大きなテーマに長崎県及び各圏域の地域リハ支援体制構築に取り組んできました。

地域リハビリテーションの理念に基づき、それぞれのニーズに応じた活動の展開が更に重要になってくると思われま
す。